

2022 年度 自己点検・評価報告書

看護学部評価分科会

2023 年 2 月

基準4 教育課程・学習成果

2023年度カリキュラム改訂を予定している学部・研究科については、下記の内容について記入ください。

- ・ 授与する学位ごとに、学位授与方針を適切に定めているか。
- ・ 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を適切に定めているか。
- ・ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

2023年度にカリキュラム改訂を行わない場合は、下記の内容について記入ください。

- ・ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【1】2021年度の自己点検・評価で課題となった事項

教育の質評価とPDCAサイクルを回すためのC（チェック項目）について、未だ取り組むことが出来ていない活動がある。また、DPとLos、アセスメント指標（直接指標、間接指標）これらを、アセスメントするタイミングと方法、そのデータを改善に効果的に活かす方法を探究する必要がある。

【2】2022年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

<方針・改善計画>

学部教育のアセスメント指標は、看護実践力評価、看護援助技術評価、看護師国家試験合格率、APアセスメント科目評価、としているが、多面的段階的なアセスメントを行うために、IRデータの活用も行う。また学生個人が学修段階を評価でき、自分で学修目標を明確にして学修を行えるように、学修到達度の可視化を行なっていく。

DPの学年別評価については、全学の評価モデルの例示を待ちながら、ルーブリック作成など方法を検討する。また、学生評価委員からの意見聴取結果を教育改善へ活かしていく。DP2番目に実習評価表もアセスメントの手段とできる。学生の自己評価として扱う。

新教育課程の開始に伴う、各科目における学修成果達成度の評価および学生からの意見聴取、授業評価アンケートも活用して、教育課程の改善の取り組みを行なっている。

<最終報告までの達成目標>

【3】2022年度の取組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度の取組みの点検】

2022年度新教育課程に合わせて、新しい評価項目に刷新して、学生に配布し実施している。

学部内で自己点検評価委員会にて、2022年度新教育課程1年次春学期科目について、学習成果の達成度評価を行なった。調査結果を受けて各科目担当者間での科目内容および評価方法、評価の適切性などを検討した。2023年3月には、秋学期科目について同様の調査・検討を行って行く。

【今後の課題および2023年度以降の方針】

新教育課程2年次科目について、順次、学修成果の達成度調査および教育内容・評価の在り方を検討していく。また、看護実践力評価および看護援助技術評価に対する学生評価から、課題が抽出されたため、教務委員会看護実践到達度評価分科会に対し、改善活動を要請して改善していく。さらに、DPを意識した（意識してもらえる）学生への伝え方について課題があったため、カリキュラムマップを用いたDPへの認識深化、また、非常勤講師が担当する学部専門科目でのDPの説明機会の充実へ向けて改善活動を行う。また、DPに関して、全学的な認識を再度確認することにより、学部の改善活動の方向性を踏まえていく。

基準5 学生の受け入れ

- ・ 学生の受入のための広報活動、および学生の受け入れの適切性について、点検・評価を行っているか。
- ・ 受入れ制度ごとに学生の学習状況を把握し、点検を行っているか。

1. 学生の受入のための広報活動、学生の受け入れの適切性について

【1】2022年度の方針・改善計画・取り組み等（および中期的な改善計画）

＜方針・改善計画＞

志願者減少に対応するために、アドミッションズセンターおよび学部事務とも連携し、取り組みを進める。2023年度入試でおこなう指定校拡充の効果を評価する。また新しい入試科目導入による動向を評価していく。看護学部ホームページ充実の取り組みは継続し、学生の意見も反映していく。志願度の高い学生確保の取り組みに関しては、アドミッションズセンターと共に検討を行って行く。

＜最終報告までの達成目標＞

2023年度入試で拡充した高校からの志願者があること
看護学部ホームページアクセス数の前年度からの増加

【2】2022年度の取組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度の取組みの点検】

アドミッションズセンターに看護学部志願者推移状況の提供を受け、学部教授陣と共有し、検討を行なった。それをもとに9月にアドミッションズセンターと検討を行う。看護学部ホームページ充実の取り組みについては、学部事務室職員が定期的にホームページを中心にした広報ミーティングを行い、2022年度新入生等在校生に対するアンケートを実施した。アンケートの狙いは、本学部への入学志願を決めるにあたって、学部ホームページのどの情報を参考としたか、また、入学前に欲しいと思った情報に関するもので、それらから得られた学生の意見から、日常的な学部生の様子を知りたいというニーズが浮かび上がった。そこで、学部ホームページトップのタブに「キャンパスライフ」のコンテンツを新たに加え、在校生、卒業生のインタビュー、学部での学びの1日を紹介するページなどを現在

拡充しているところである。

関連して、アドミッションズセンターが発行するキャンパスガイド(冊子)の学部紹介ページについては、学部教員、学部事務室職員、アドミッションズセンター職員にて制作ミーティングを実施。加えて、学部教員と学部事務室職員がキャンパスガイド制作に関するミーティングを別途行い、学部ホームページへの誘導を意識したキャンパスガイドとして、学部の魅力を発信するための紙面構成につき、連携して取り組みを進めているところである。

アドミッションズセンターと検討を行なった。学部ホームページトップのタブに「キャンパスライフ」のコンテンツを新たに加え、在校生、卒業生のインタビュー、学部での学びの1日を紹介するページなどを作成した。紙上オープンキャンパスの制作に入り、Instagramを開設した。

【今後の課題および2023年度以降の方針】

受験生を含め、広く看護学部の日常を知ってもらうための新たな媒体として、「紙上オープンキャンパス」を制作した。「紙上オープンキャンパス」は、学部ホームページ上からの閲覧のほか、別途、紙媒体として印刷することになっている。今後、アドミッションズセンターとも連携し、資料請求やキャンパスクラブ登録のあった、看護学部志望の高校生等へ郵送し、本学部の魅力を伝えていくことを検討している。

更に例えば、広報委員会等の設置を行ない、アドミッションズセンターと連携して志願者増へ向けて活動する。

学生の意見聴取

- ・ 履修、授業、DPに関すること
- ・ 昨年度の学生からの意見聴取を受けて取り組んだ事項について
- ・ 学生生活アンケートから見える本学の傾向性について

【1】2021年度の意見聴取をもとに実施した検討や取り組みの内容

学部教務委員会の看護実践力等評価分科会にて、調査項目の学生への説明他の学生評価で上がった項目について検討してもらい、評価表を修正した。また、卒業時到達目標の周知と各科目の到達目標の受講者への周知について、学部ガイダンスおよび科目責任者へ周知し、受講生が目的をもった学習ができるようにした。2022年度教育課程の開始(2022年度入学生から適応)により、2013年度教育課程の学生が混乱しないように、教員への周知を2021年度末に行ない、各アドバイザーによる履修指導を行なった。

学生生活アンケートから見える学部生の傾向性は、「他者と協力して行動する力」は、「大いに高まった」「高まった」の合計が8割超。「自分の良心や社会のルールに従って行動できる倫理観」について

「大いに高まった」「高まった」の合計が8割を超えて高い水準である。また、授業時間以外の学習時間は、看護学部は「3～4時間」以上の割合が約4割と、他の学部と比較して長い傾向がある。不安については、看護学部は「学業」が3割を超えて他学部と比較して若干高い。睡眠時間については、「4～6時間」以下の割合が5割を超えており、他の学部と比較して睡眠時間が少ない傾向がある。

【2】2022年度の意見聴取を踏まえた2023年度以降の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

2022年度 看護学部 学生参加の点検評価会議学生評価会議を受けて、以下の改善を行う。

国試受験支援については、模試の解きなおしの方法は、学習スタイルが確立するまでは解き直しノート作成でも良いが、後からは固定せず学生個々の学習方法でも良いのではないかと、この課題について、今後の対応方について、国家試験対策委員会と課題を共有し、改善活動を進めていくようにする。

就職や進学 of 教員による支援については、3年次終わりの2月から3月に就職・進学支援が必要であり、ゼミ教員の決定時期と重なるが、今後は、3年次生のアドバイザー教員が就職・進学支援を行うことを、教員、学生が認識するようにアドバイザー懇談会で周知するなどし、一方で、教員間では、3年次生アドバイザー教員から、4年次生ゼミ担当教員へ該当学生への申し送りを行えるように取り組んでいく。

就職支援に関し、就職支援の開始時期について、従来の3年次からではなく、2年次からの支援を希望する意見が学生から寄せられた。これを踏まえて、看護学部事務室では、低学年向けの就職支援内容についての企画内容の検討を進め、実施していくことにしている。